

第 1 学年 社会科学習指導案

1 単元名 ヨーロッパ州 (帝国書院『中学生の地理』 pp. 50～62)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領(1)ウ「世界の諸地域」(イ)「ヨーロッパ」にあたる。ヨーロッパ州の地域的特色を理解させるにあたり、地域統合による変化と課題を主題とし、EUの拡大と離脱を学習課題に設定し追求活動を柱に単元を構成する。

2016年6月にイギリスのEU離脱の是非を問う国民投票が行われ、EU離脱が賛成多数という結果になった。第二次世界大戦後にヨーロッパの弱体化を防ぎ、団結を強めるという形で誕生したEUは現在大きな変化を迎えようとしている。これまでは、生活面、文化面、交通面、経済面と様々な形で成果を見せ、地域統合の象徴的存在であった。しかし、近年それと同時に課題も浮き彫りとなってきた。EU域内の経済格差、EU域内での主権の在り方、移民や難民の流入による社会保障負担の増大、安全保障など多くの課題を抱えるEUでは現在分離や独立の動きが加速している。この単元では、単元を通して、ヨーロッパにおける地域統合の成果と課題について学習する。成果と課題について学習した上で、これからどうあるべきかについて考察することは、グローバル化が進展し、様々な形で地域統合が進む世界の一員としての自覚を深めるとともに、主体的に学び、他と協力しながら対話的に物事を解決しようとする態度の育成につながる。

- 6月に本学級の生徒から採ったアンケートの結果では、「社会の勉強が好きだ」という項目に対して約75%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しており、授業に対しても意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、「社会の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う」という項目に対しては、約85%の生徒が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答している。このことから、資料に基づいて理論的な説明をすることや自分の考えを表現することに関しては苦手意識を持つ生徒が多いと言える。アンケート結果を踏まえ、学習のまとめ、振り返りの場面において学習内容について説明したり、各単元において自分の考えを含めて論述したりする活動を取り入れてきた。その結果、これまで説明や論述をしなければならない課題に対して無解答や消極的であった生徒も徐々に文章で表現する力が身についてきた。
- 本単元では、地理的分野のヨーロッパ州の学習を通して、「なぜEUに拡大と離脱の動きが見られるのか」という単元を貫く問いを設定している。まず、自然環境について学習することでヨーロッパ州について大観させる。次に文化や民族、産業について学習し、ヨーロッパ州の国々の多様な地域的特色について理解させる。そして、EUの成果、課題についての学習を展開していく。追究過程において、多様な特色をもつヨーロッパ州の国々が、地域としてつながりを深めていくことに疑問を持たせ、地域統合による良い影響と課題にせまるよう促したい。そして、良い影響と課題から、時代の変化とともにEU内での人々の生活に大きな変化が生じていることに気付かせ、生徒の中で思考の葛藤が生まれるようにしたい。単元の最後には「イギリスのEU離脱に賛成か、反対か、理由を付けて説明する」という学習課題を設定し、生徒が学習集団の中で対話的に課題に取り組み、深い学びの実現を狙う。

3 単元の目標

- (1) ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えさせる。

- (2) ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。
- (3) ヨーロッパ州の地域的特色に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に選択させ、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。
- (4) ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、ヨーロッパ州の地域的特色を理解させ、その知識を身に付けさせる。

4 単元の評価規準

| 社会的事象への 関心・意欲・態度【関】 | 社会的な 思考・判断・表現【思】 | 資料活用の 技能【技】 | 社会的事象についての 知識・理解【知】 |
|---|--|--|--|
| ○ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 | ○ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | ○ヨーロッパ州の地域的特色に関する様々な資料を収集させ、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | ○ヨーロッパ州における地域統合の拡大と離脱の動きについて追究する問いを基に、ヨーロッパ州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 |

5 単元の指導計画（全6時間）

| 過程 | 主な学習活動（○） | 教師の働き掛け（○） | 評価（・） 評価の観点【】 | 時配 |
|-----|---|--|---|----|
| つかむ | ○教科書や地図帳、資料から、自然環境や民族、文化について、ヨーロッパ州を概観する。 ○ヨーロッパ州の地理的特色について追究する単元を貫く学習課題を設定する。 | ○ヨーロッパ州に関する基本的な情報や地形、気候、民族分布の資料を提示することで、その多様性に気付かせる。 ○EU発足の歴史的背景と時代の変化に伴う課題に関する資料を提示し、地域統合についての関心を高めさせることで単元を貫く学習課題に導く。 | ・ヨーロッパ州の自然、人口と民族、産業の特色について理解している。【知】 ・EU発足の背景や現在の課題についての気付きや疑問から単元を貫く学習課題を設定し、調べたいことを考えようとしている。【関】 | 2 |
| | ○EU域内でできることを調べ、人々の生活の変化についてまとめる。 | ○地域統合による利点を経済・政治面での世界への影響力、人々の生活の利便性の向上について、補足説明する。 | ・地域統合に関する利点を資料から読み取ることで、地域統合の意義を理解している。【知】 | |

[単元を貫く学習課題] なぜEUに拡大と離脱の動きが見られるのか

| | | | | |
|---------|---|--|---|-----------|
| 調べる | <p>○ヨーロッパ州の地域ごとの農業について調べる。</p> <p>○工業におけるEU域内の国家間の分業と、その結び付きについてまとめる。</p> | <p>○ヨーロッパ州の地域ごとの気候や地形と農業形態の関連について読み取らせることで、EU域内の食糧生産の現状や自給率に関する課題について整理させる。</p> <p>○国家間で協力して行うEU域内の工業について読み取らせることで、国際競争力の高まりについて気付かせる。</p> <p>○EU域内における工業発展の差から、域内の経済格差とそれによる課題についてまとめさせる。</p> | <p>・ヨーロッパ州の地域ごとの農業について調べることで、EU域内での食糧生産の現状や自給率に関する課題を読み取っている。【技】</p> <p>・工業におけるEU域内の国家間の分業と、その結び付きについて調べることで、国際競争力の高まりやEU域内の経済格差とその課題を読み取っている。【技】</p> <p>・EU統合の内容について、工業、人々の移動、交通の3つの視点から説明している。【思】</p> | 3 |
| 考え・まとめる | <p>○イギリスのEU離脱を例に地域統合の成果と課題について多面的・多角的に考察し、これからの地域統合の在り方について展望を持つ。</p> | <p>○イギリスのEU離脱について、考察させることで、これからの地域統合の在り方について展望を持たせる。</p> | <p>・イギリスのEU離脱を例に、地域統合の成果と課題についてこれまでの学習を振り返り、自分なりに判断した上で、自分の考えを表現している。【思】</p> | 1 (本時) |

6 本時の目標

地域統合の成果と課題について考察させ、イギリスのEU離脱に賛成か反対か、理由を踏まえて説明することができるようにする。【社会的な思考・判断・表現】

7 展開(本時6/6)

| 学習活動 | 教師の働き掛け (○) と評価【】 |
|--|--|
| <p>1 本時の学習内容の見通しを持つ。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> | <p>○イギリスのEU離脱問題に関する新聞記事を提示することで、本時の授業内容に対する関心を高める。</p> <p>○本時の授業目標を確認することで、目標達成に向けた見通しを持たせる。</p> |
| <p>[単元を貫く学習課題] なぜEUに拡大と離脱の動きが見られるのか</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>3 イギリスの国民投票でEU離脱に賛成が多かった理由について仮説を立てる。</p> | <p>○賛成の立場の仮説を立てさせた後に、僅差の結果を知らせることで、4における生徒の考察が偏らないようにする。</p> |
| <p>4 イギリスのEU離脱について考察する。</p> | <p>○あらかじめ争点を絞り、ワークシートに合わせた書き方を示すことで自分の考えを文章に表現しやすくする。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(争点) ・移民問題、主権、経済、その他</p> </div> | <p>○賛成、反対の相対する資料を提示することで意思決定の葛藤を促す。また、自分の考えに資料に基づいた理論的な理由を付けさせる。</p> |
| <p>5 グループ内で意見交換をする。</p> | <p>○意見を一方的に述べさせるのではなく、グループや全体の意見交換の中で、自分の意見と他の意見を比較させることで、多面的な見方があることに気付かせる。</p> |
| <p>6 全体で意見を発表する。</p> | <p>○気付いたことや分かったことをメモさせる。</p> |
| <p>7 他の意見を聞き、振り返りを行う。</p> | <p>○他の生徒の意見の納得した点について記述させることで、学習内容を深める。EU離脱について、自分なりの根拠を基に自分の考えを記述している。</p> |

【評価】

8 本時の評価

| | | | |
|-----------------------------|--|--|--|
| <p>評価規準</p> | <p>地域統合の成果と課題について考察し、イギリスのEU離脱に賛成か反対か、理由を踏まえて説明している。 【社会的な思考・判断・表現】</p> | | |
| <p>判断する目安 (判定基準)</p> | <p>十分満足できる状況(A) ○ワークシートに合わせた書き方に沿って、イギリスのEU離脱に賛成か反対か、自分なりの根拠を基に自分の考えを記述している。</p> | <p>おおむね満足できる状況(B) ○ワークシートに合わせた書き方に沿って、イギリスのEU離脱に賛成か反対か、自分の考えを記述している。</p> | <p>努力を要する状況(C) (B)に達していない状況</p> |
| <p>→(B), (C)と判断した生徒への支援</p> | | <p>○他の生徒の意見を参考にするように声掛けをする。</p> | <p>○ワークシートに合わせた書き方に合わせた書き方に沿って記述するように促す。</p> |
| <p>評価方法</p> | <p>ワークシートの記述</p> | | |